



Kodak

i24x0/i26x0/i28x0 スキャナー

ISISドライバ用スキャン
セットアップガイド

ISIS ドライバ用スキャンセットアップガイド

目次	ISIS ドライバの使用.....	1
	Scan Validation Tool の起動	2
	イメージオプション	5
	ISIS ドライバメインウィンドウ	5
	[メイン] タブ	7
	[レイアウト] タブ	9
	[スキャン領域] ダイアログボックス.....	10
	[イメージ処理] タブ	11
	[カラーの自動検知] タブ	13
	[ドロップアウト] タブ	15
	[調整] タブ	16
	[背景] タブ	17
	[イメージの端を埋める] タブ	18
	[ブランクイメージ検出] タブ	19
	[バージョン情報] タブ	20
	スキャナーオプション	21
	[スキャナー] タブ	21
	[重層検知] タブ	22
	[ログ] タブ	24
	[Scan Validation Tool] ダイアログボックス	25

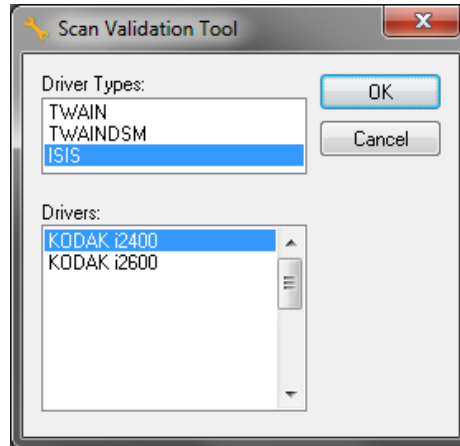
ISIS ドライバの使用

コダック i2400/i2600/i2800/i2420/i2620/i2820 スキャナーは、様々なイメージを提供することができます。Kodak Alaris のスキャナーと EMC Captiva が製造、所有する ISIS ドライバによって、幅広いイメージを提供致します。多くのスキャンアプリケーションは ISIS ドライバをサポートしており、アプリケーションとのインターフェースとして使用されます。ISIS ドライバはご使用のスキャナーアプリケーションにスキャナーをリンクさせるスキャンシステムの一部です。

ここでは ISIS ドライバメインウィンドウの各タブにあるオプションの説明と、設定方法について説明します。これらの機能は、使用しているスキャンアプリケーション（コダックキャプチャソフトウェアなど）のユーザインターフェイスでも選択できます。

Scan Validation Tool の起動


1. [スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [Scan Validation Tool] を選択します。

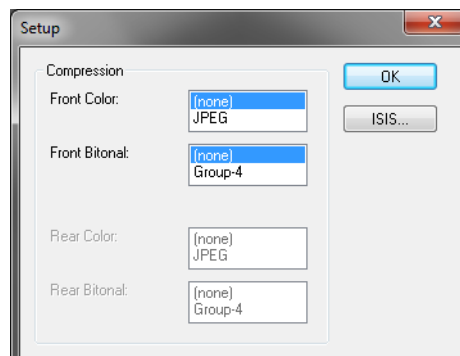


2. [ドライバの種類] から [ISIS] を選択し、[ドライバ] から [**Kodak** スキャナー i2400/i2600/i2800/i2420/i2620/i2820] を選択します。
[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。

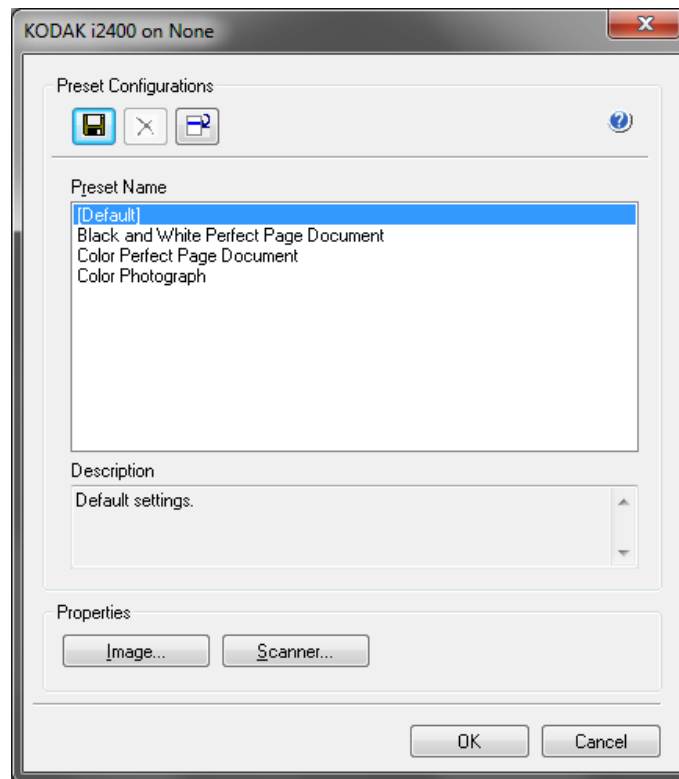
注： [Scan Validation Tool] ダイアログボックス上のアイコンの説明については本書で後述の「[Scan Validation Tool] ダイアログボックス」のセクションを参照してください。



3. [セットアップ] アイコンをクリックします 。[セットアップ] ダイアログボックスが表示されます。







4. [ISIS] をクリックすると、[プリセット設定] ウィンドウが表示されます。



[プリセット設定] ウィンドウには、カスタム設定が保存されています。各プリセットは、ISIS ドライバプリセットファイルとして、名前と説明付きでローカルに保存されます。プリセットはプリセット名リストからのロードや削除、また別の場所から IDP ファイルとしてインポートが可能です。プリセットは数に制限無く作成可能です。

[プロパティ] フィールド内の [イメージ] および [スキャナー] ボタンでは、イメージとスキャナーの設定に関連するタブが表示されます。詳細については、本ガイドの後半の「イメージオプション」と「スキャナーオプション」のセクションを参照してください。

アイコン：プリセット設定

-  **プリセットの保存** - プリセット名を指定してスキャナー設定を保存します。
-  **プリセットの削除** - 指定したプリセット名と関連するすべての設定内容を削除します。
-  **プリセットのインポート** - ISIS ドライバプリセットファイル (IDP) をインポートします。
-  **ヘルプ** - 現在表示されているウィンドウのオンラインヘルプを表示します。

プリセット名 - 使用可能なプリセットを表示します。

説明 - 選択したプリセットに対して説明を追加できます。

プロパティ :

- **イメージ** : イメージ設定に関連するタブとオプションを表示します。
- **スキャナー** : スキャナー設定に関連するタブとオプションを表示します。

OK - 変更内容を保存後、ウィンドウを閉じます。

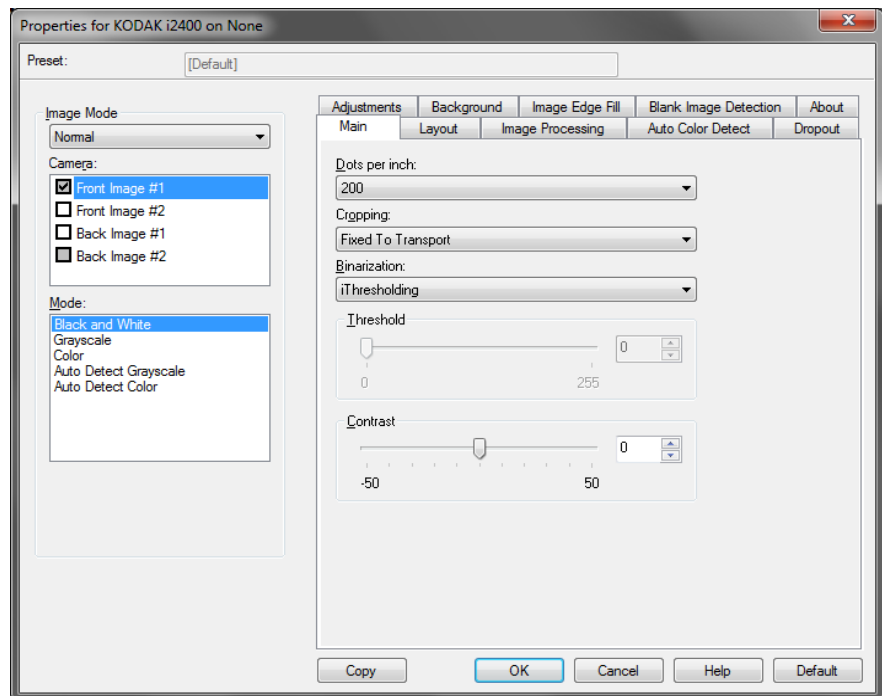
キャンセル - 変更内容を保存せずにウィンドウを閉じます。

ヘルプ - 現在表示されているウィンドウのオンラインヘルプを表示します。

イメージオプション

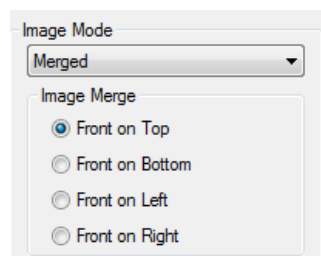
ISIS ドライバメインウィンドウ

ISIS ドライバメインウィンドウには、9個のタブがあります。スキャンの目的やニーズに合わせて、これらのタブを使ってオプションを設定できます。ウィンドウ下部にあるボタンは、すべてのタブに対して適用されます。



イメージモード - 設定モードを指定します。

- **標準** : [表面イメージ] / [裏面イメージ] オプションを設定する場合は、このオプションを選択します。
- **結合** : このオプションを選択すると、原稿の表面と裏面を1つのイメージに結合します。



選択項目は次のとおりです。



表面を上：表面を裏面の上に配置します。**表面を下**：裏面を表面の上に配置します。



表面を左：表面を裏面の左に配置します。**表面を右**：裏面を表面の左に配置します。

カメラ - イメージでスキャン可能な面（表面および裏面）が一覧表示され、それぞれの面でイメージ処理値を定義できます。オプションには、**[表面イメージ1]**、**[表面イメージ2]**、**[裏面イメージ1]**、**[裏面イメージ2]** があります。

スキャナドライバでは、カメラ設定を個別に制御できます。白黒イメージに適用される設定や、カラー/グレースケールイメージに適用される設定があります。適切なカメラとイメージモードを選択して、スキャナーの出力を制御します。

モード

- **白黒**：白黒の2階調で構成したイメージを作成する場合に選択します。
- **グレースケール**：グレースケールでイメージを作成する場合に選択します。
- **カラー**：イメージをカラーにする場合に選択します。
- **グレースケールの自動検知**：カラーの自動検知をグレースケール用に設定します。詳細は「[カラーの自動検知] タブ」を参照してください。
- **カラーの自動検知**：カラーでカラーの自動検知を設定します。詳細は「[カラーの自動検知] タブ」を参照してください。

コピー - 両面原稿をスキャンする場合に使用できます。片面のカラー、グレースケール、白黒イメージの設定を定義してから、**[コピー]** ボタンをクリックすると、その設定内容を裏面にコピーすることができます。たとえば、**[表面イメージ#1]** を設定してから、**[コピー]** ボタンをクリックすると、その設定内容を**[裏面イメージ#2]** にコピーできます。

OK - すべてのタブ上で設定された内容を保存します。

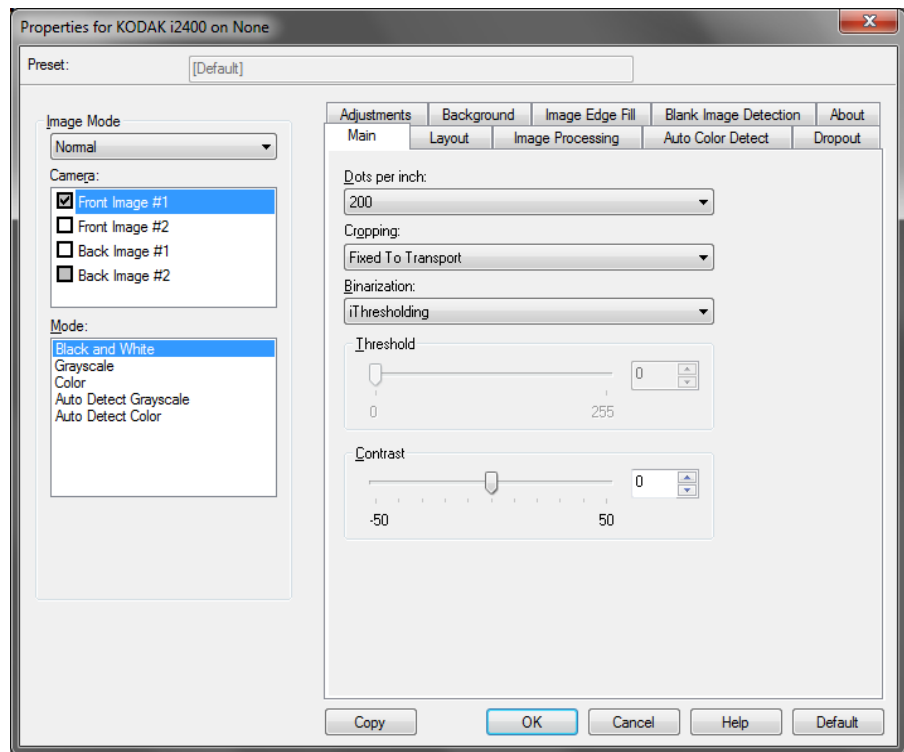
キャンセル - 変更内容を保存せずにウィンドウを閉じます。

ヘルプ - 現在表示されているウィンドウのオンラインヘルプを表示します。

デフォルト - このオプションを選択すると、すべてのタブの値が工場出荷時の値にリセットされます。

[メイン] タブ

[メイン] タブには、以下のオプションがあります。



1インチあたりのドット数 (dpi) および解像度 - スキャンする際の解像度を指定します。この設定はスキャンしたイメージの品質に大きく影響します。解像度を大きくすると、画質が良くなります。ただし、高い解像度でスキャンすると、スキャンに要する時間が長くなり、ファイルサイズが大きくなります。

ドロップダウンリストから解像度を選択します。デフォルトは 200 dpi です。使用できる解像度は 100、150、200、240、250、300、400、600 dpi です。

クロッピング - スキャン原稿の一部を切り取ります。クロッピングオプションは、カラー/グレースケール、白黒イメージですべて使用できます。表面と裏面のクロッピングを個別に設定できますが、同時出力スキャンの場合は、カラー/グレースケールクロッピングと白黒クロッピングを読み取り面ごとに同じ値に設定する必要があります。クロッピングオプションは、1イメージに対して1つだけ適用可能です。次のいずれかのオプションを選択します。

- **自動** : イメージの端に合わせて、異なる原稿サイズのクロッピングウィンドウを自動的に調節します。
- **アグレッシブ** : イメージの端に黒の外枠がある場合、それを除去します。これを選択すると、原稿の端のイメージデータが一部失われる可能性があります。
- **ガイド幅に合わせる** : (同じサイズ of 原稿をまとめてスキャンする場合) イメージとして出力する領域を定義できます。[ガイド幅に合わせる] クロッピングは、用紙サイズとページレイアウトと組み合わせて、原稿を中央に揃えてスキャンする場合に使用します。中央揃えを使用しない場合は、[レイアウト] タブでスキャン領域を設定する必要があります。詳細については、後述する「[レイアウト] タブ」のセクションを参照してください。

- **ドキュメントに合わせる** : (同一サイズの複数ページの原稿に使用) - ゾーンプロセッシングは、原稿の左上隅からレイアウトを設定する浮動固定クロップウィンドウ (ゾーン) です。そのゾーンをカラー/グレースケールで処理するか、白黒で処理するか選択できます (白黒とカラー/グレースケールを別のウィンドウに定義することもできます)。パラメータは、イメージの表面と裏面でそれぞれ選択できます。

このオプションは、ある部分をカラー/グレースケールまたは白黒で別々に保存したい場合、自動クロッピングと同時に使用します。写真、署名、エンボス (浮き出し)、印章など、対象となる部分が一定の場所に配置されている場合に大変効果的です (対象の小さい部分をカラー/グレースケールでスキャンし、残りの部分を白黒でスキャンする場合など)。ゾーンを定義するには、[レイアウト] タブを選択します。

バイナリゼーション - これらのオプションは、グレースケールイメージに適用され、白黒のイメージを出力します。背景色や濃度が異なっていたり、前景情報の色や濃度が異なっても、背景情報から前景情報を区別できるところに特長があります。同じ画像処理パラメータを使用してさまざまなタイプの原稿をスキャンでき、優れたスキャンイメージを得ることができます。

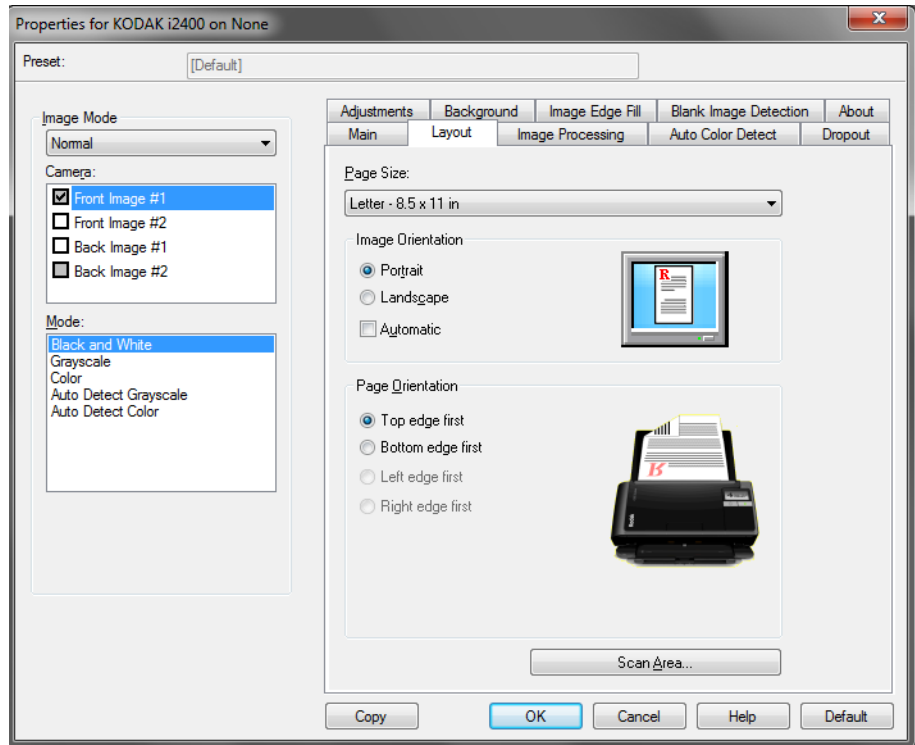
- **iThresholding** : 高品質のイメージを生成するために、原稿を自動的に識別して、最適なしきい値 (スレッシュホールド) が決定されます。単一の設定で画質が異なる原稿 (文字のかすれ、濃淡のある背景、カラーの背景など) をスキャンすることができ、原稿を仕分けする手間を省くことができます。iThresholding を使用する場合は、[コントラスト] のみ調整可能です。
- **固定処理 (FP)** : 白黒および他の高コントラスト原稿に使用します。[固定処理 (FP)] を選択した場合は、[明度] のみ調整可能です。
- **アダプティブしきい値 (ATP)** : イメージの前景情報 (文字、グラフィック、線など) を背景情報 (白または白以外の用紙の背景) と区別します。アダプティブしきい値を使用する場合は、[スレッシュホールド] と [コントラスト] を調節できます。

コントラスト - 白黒の明暗の差を調整し、イメージをシャープ、またはソフトにします。

[コントラスト] を低く設定すると、白黒の明暗の差が小さくなり、ソフトなイメージになります。[コントラスト] を高く設定すると、白黒の明暗の差が大きくなり、シャープなイメージになります。-50 ~ 50 までの値を選択します。デフォルト値は0です。

【レイアウト】 タブ

【レイアウト】 タブには、以下のオプションがあります。



ページサイズ - スキャナーが最初に選択されたときのデフォルトの用紙サイズを設定します。ドロップダウンリストから各用紙サイズを選択できます。

イメージの向き

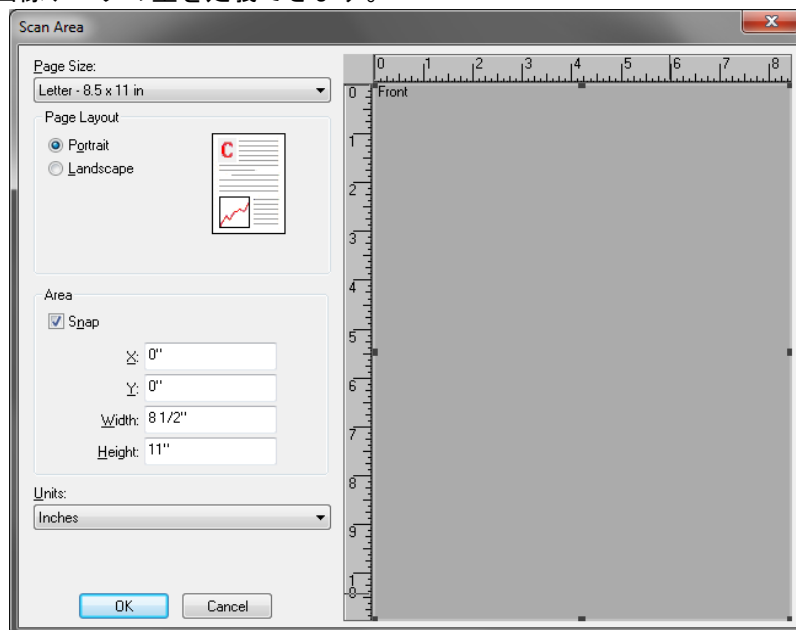
- **縦** : 従来の縦長の向きにイメージを表示します。
- **横** : 横長の向きにイメージを表示します。

ページの向き - スキャナーにセットする原稿の向きを選択できます。[用紙上端より]、[用紙下端より]、[用紙左端より]、[用紙右端より]のいずれかを選択します。コダック i2400/i2600/i2800/i2420/i2620/i2820 スキャナーを使用する場合は、[用紙上端より]を選択します。

スキャン領域 - [スキャン領域] ダイアログボックスを表示します。[スキャン領域] オプションは、クロッピングオプションが [ガイド幅に合わせる] または [ドキュメントに合わせる] に設定されている場合に利用できます。詳細については、「[スキャン領域] ダイアログボックス」を参照してください。

[スキャン領域] ダイアログボックス

[スキャン領域] ダイアログボックスを使用して、コンピュータに送信される画像データの量を定義できます。



カメラ - 設定するカメラを選択します。

ページサイズ - 使用可能な用紙サイズを一覧表示します。スキャンする項目のサイズに合う用紙サイズ、または最大サイズに近いサイズを選択します。大きな領域をスキャンすると、不要な空白または不適切なデータ（ノイズ）を保存することになるので、ディスク容量を浪費してしまいます。

該当するサイズがない場合は、大きめのサイズを選択し、[レイアウト] ウィンドウを使用してスキャン領域をページ部分に合わせて調節します。

すべてのスキャナーに、**スキャナーの最大ページサイズ設定**があります。このサイズを選択すると、スキャナーが対応可能な最大イメージがスキャンされます。

ページレイアウト

- **横**：横長の向きにイメージを表示します。
- **縦**：従来の縦長の向きにイメージを表示します。

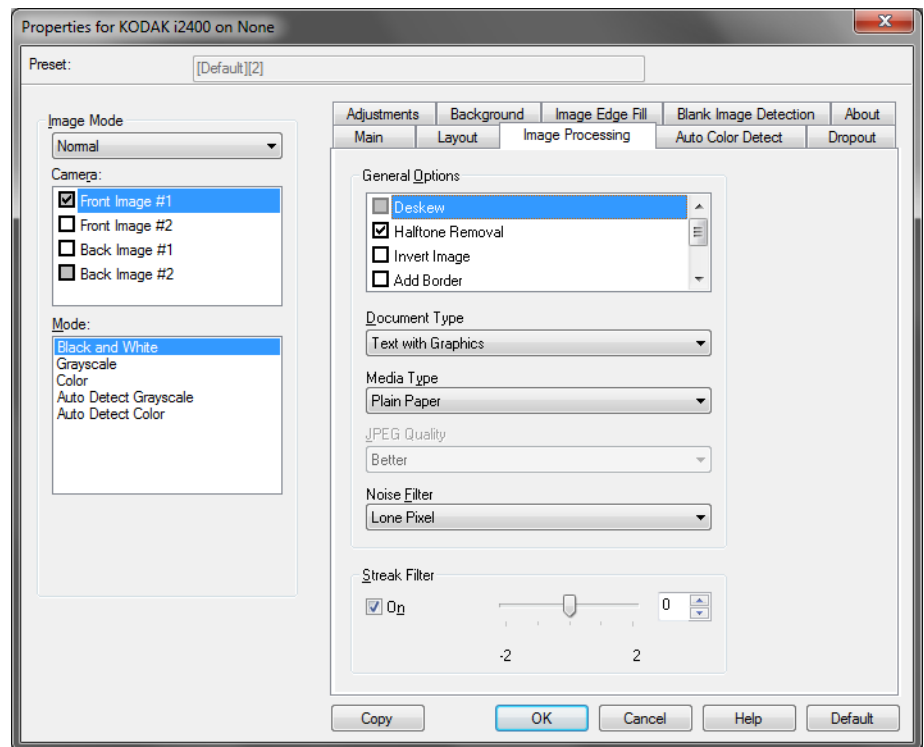
領域

- **スナップ** - プレビューエリアの領域を 1/8 インチ単位で制御する場合に、このオプションを有効にします。このオプションは、**ピクセルモード**では無効になります。
- **X**：スキャナーの左端からスキャン領域の左端までの間隔を設定します。
- **Y**：スキャナーの上端からスキャン領域の上端までの間隔を設定します。
- **幅**：スキャン領域の幅を設定します。
- **高さ**：スキャン領域の高さを設定します。

単位 - 領域定義する単位を [ピクセル]、[インチ]、[センチメートル] から選択します。

【イメージ処理】 タブ

【イメージ処理】 タブには、以下のオプションがあります。



一般オプション

- **デスキュー** - 原稿の先端の +/-0.3度以内の傾きが自動的に補正されます。自動傾き補正では、最大45度までの傾きを検出し、200 dpiで24度まで、300 dpiで10度まで補正できます。【ガイド幅に合わせる】または【ドキュメントに合わせる】オプションが選択されている場合、このオプションは利用できません。

注： イメージデータの損失を防ぐために、原稿の四隅が搬送路内側に収まっていることを確認してください。

- **ハーフトーン除去** - ハーフトーンスクリーンを使って、点描画の文字やイメージ、濃淡のある背景やカラーの背景を持つイメージ品質を高め、ハーフトーンスクリーンにより発生したノイズを効果的に除去します。
- **反転** - 黒ピクセルがイメージ内に保存される方法を選択できます。デフォルトでは、黒ピクセルは黒として、白ピクセルは白として保存されます。黒ピクセルを白として、白ピクセルを黒として保存する場合は、このオプションを有効にします。

注： ご使用のアプリケーションがイメージデータの解析 / 処理を誤り、希望とは異なるイメージが保存される場合は、このオプションで対応できます。

- **境界線を追加** - イメージの上下左右に、外枠を追加します。

- **バーコード**：バーコードのイメージを検索するように、スキャナーを設定できます。スキャナーは各イメージを検索し、最初に検出したバーコードをデコードし、その情報をスキャンアプリケーションに返します。

以下のバーコードを検出できます。

- Interleaved 2 of 5
- Code 3 of 9
- Code 128
- Codabar
- UPC-A
- UPC-E
- EAN -13
- EAN -8
- PDF417

ドキュメントタイプ

- **文字**：文字原稿の場合に選択します。
- **文字と図形**：文書、グラフィック（棒グラフ、円グラフなど）、線画などが混在している原稿の場合に選択します。
- **写真**：原稿は主に写真で構成されます。
- **書類のタイプ**：スキャンする用紙の素材や重量に基づいて、いずれかのオプションを選択します。利用可能なオプション：

JPEG (Joint Photographic Editor Group) 品質 - JPEG 圧縮を選択した場合、いずれかの品質オプションを選択します。

- **ドラフト**：圧縮率を最大にして最小サイズのイメージを生成します。
- **標準**：標準的な圧縮率ですが、満足いく品質のイメージが生成されます。
- **高**：一部圧縮され、良い品質のイメージが生成されます。
- **最高**：小さい圧縮率で非常に良い品質のイメージが生成されます。
- **高品質**：最小の圧縮率で最大サイズのイメージが生成されます。

ノイズフィルタ

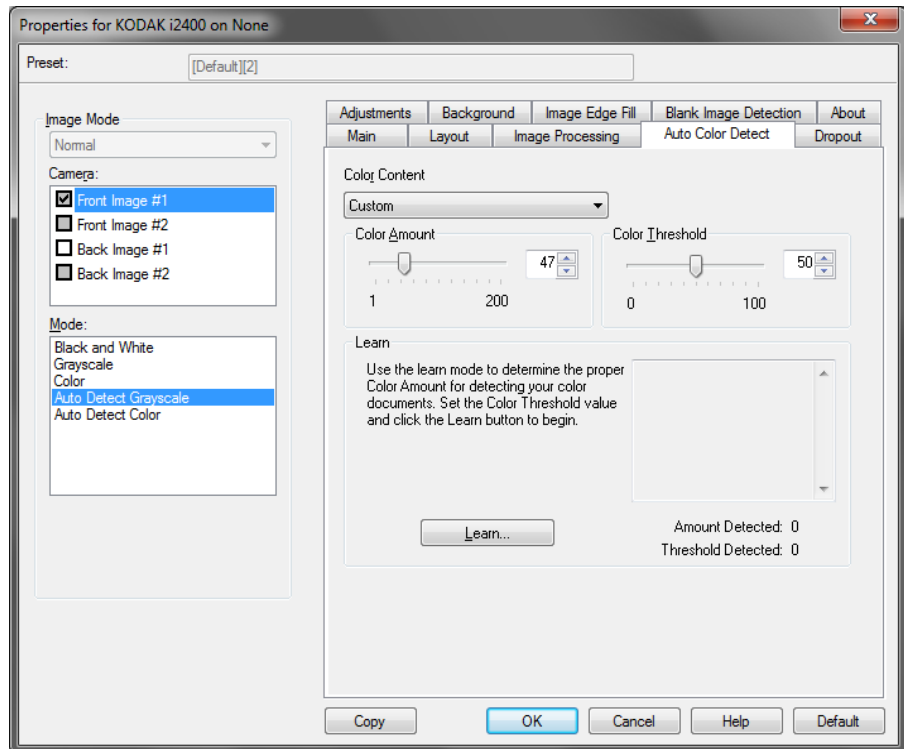
- (なし)
- **孤立点除去**：白ピクセルで完全に囲まれている単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒ピクセルで完全に囲まれている単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、ランダムノイズを減らします。
- **マジョリティールール**：各ピクセルをその周辺全域のデータに基づき設定します。ピクセルは周辺全域ピクセルの多数が白の場合白になり、黒の場合は黒になります。

縦縞フィルタ - イメージから縦縞をフィルタするようにスキャナーを設定できます。縦縞とは、原稿上には存在しないにもかかわらず、まれにイメージに現れる線のことです。縦縞は、原稿上の汚れ、塵、擦り切れた端などが原因で発生するか、スキャナーの推奨清掃手順に従わなかったために発生する場合があります。

- **[ON]** を選択して、フィルタ値を設定します。スライダによって強弱を調整して縦縞をフィルタできます。値の範囲は、**-2 ~ 2** です。デフォルト値は0です。

[カラーの自動検知] タブ

[カラーの自動検知] タブには、以下のオプションがあります。



カラー設定

- **低**：カラー/グレースケールイメージとして保存する場合に、スキャンする原稿の色の量が少ない場合に選択します。黒い文字と小さなロゴが主体の原稿や、マーカの量や写真の色が少ない原稿をスキャンする場合に適します。
- **中**：カラー/グレースケールイメージとして保存する場合に、[低] オプションよりも色の割合が多い原稿の場合に選択します。
- **高**：カラー/グレースケールイメージとして保存する場合に、[中] オプションよりも、色の割合が多い場合に選択します。中～大規模のカラー写真などを多用している原稿に適します。中間色の割合が大きい写真を正しくスキャンするには、色量やカラーズレッシュョルドの調整が必要になる場合があります。
- **カスタム**：[色量] オプションと[カラーズレッシュョルド] オプションの値を調整することができます。

注：[自動カラー検知] の値を設定する場合は、まず [中] オプションを選択してから、通常のスキャン作業でテストしてみることをお勧めします。白黒と比較して原稿の大半がカラー/グレースケールとして返された場合は、[高] に変更してから、もう一度ジョブを実行してください。白黒と比較してカラー/グレースケールとして返された原稿が少なすぎる場合には、[低] に変更してから、もう一度ジョブを実行してください。以上のオプションで満足の結果が得られなかった場合は、[カスタム] オプションを選択して手動で [色量] や [カラーズレッシュョルド] を調整してください。

色量：原稿をカラー/グレースケールで保存する際に、原稿中に最低限必要なカラーの量です。[色量] の値を増やすと、必要とされるカラーピクセルの量も増加します。有効値は1～200です。

カラーレッシュョルド：色量の算出時に特定の色を含めるための、カラーレッシュョルドまたは彩度（薄青と 紺色の対比など）。値を増やすと、必要とされる彩度が高くなります。有効値は0～100です。

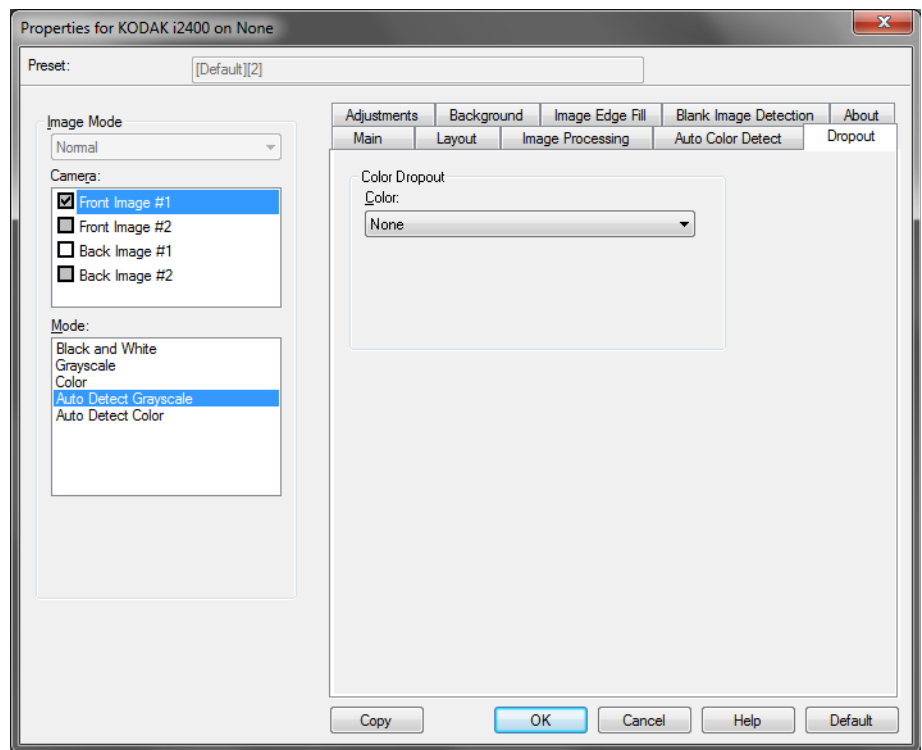
自動設定 - [低]、[中]、および [高] オプションで期待通りの結果が得られない場合は、[自動設定] オプションを使用します。

1. [自動設定] をクリックして、表示されるメッセージに従って作業を行います。
2. 入カトレイにサンプルのカラー原稿を 5 枚以上セットして、[OK] をクリックします。セットした原稿が分析され、推奨する色量が算出されます。
3. 表示された [色量] と [カラーレッシュョルド] の値をメモに書き留めます。この値をアプリケーションで使用します。

注： これらの設定は、スキャンされたサンプルのカラー原稿に基づいて算出されます。算出された値を使っても期待通りの結果にならない場合は、[カラーレッシュョルド] の値を直接調整してください。

[ドロッパアウト] タブ

[ドロッパアウト] タブには、以下のオプションがあります。

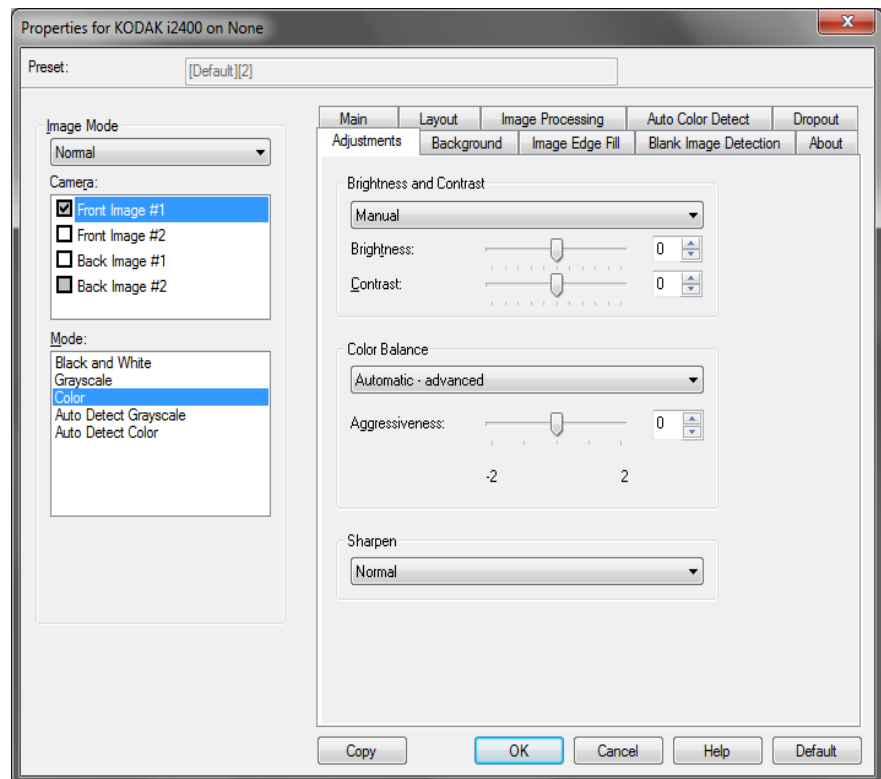


[ドロッパアウト] タブは、フォームの背景を消去するために使用します。背景が消去されると入力されたデータのみがイメージとして保存されます (フォームのラインとボックスを削除)。白黒イメージの場合、これらの設定は白黒イメージを生成するために使用するグレースケール版の原稿イメージに影響します。

カラードロッパアウトを有効にする - i2400/i2600/i2800/i2420/i2620/i2820 スキャナーでは、赤、緑、または青の各色をドロッパアウトできます。[なし]がデフォルトです。

【調整】 タブ

【調整】 タブには、以下のオプションがあります。



カラー調整

自動明度/コントラスト - 自動またはマニュアルで明度とコントラストを変更できます。

- **【自動】** を選択すると、原稿ごとに解析して最適なスレッシュホールドを決定するため、最高のイメージ品質が得られます。単一の設定で画質が異なる原稿（文字のかすれ、濃淡のある背景、カラーの背景など）をスキャンすることができ、原稿を仕分けする手間を省くことができます。[自動明度]を使用する場合は、[イメージコントラスト]だけを調整できます。
- **【自動】** を選択しない場合は、スライダーを使用して明度とコントラストを手動で調整できます。

赤 - カラーイメージ中の赤のレベルを調整します。

緑 - カラーイメージ中の緑のレベルを調整します。

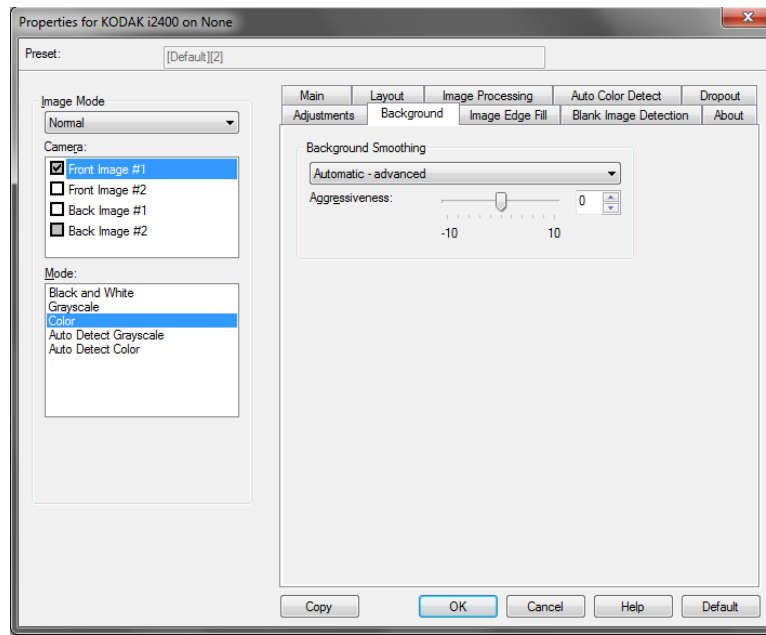
青 - カラーイメージ中の青のレベルを調整します。

- スライダーを左右に移動するか、テキストボックスに値を直接入力、またはテキストボックスの上下矢印を使って、これらの設定値を調整できます。

シャープネス - イメージ内の境界線のコントラストを増やします。0（シャープネスなし）から3までの値を選択します。

[背景] タブ

[背景] タブでは以下のオプションが提供されます。



背景のスミージング - 背景色のある原稿やフォームをスキャンする場合にこのオプションを使用すると、背景色を均一にします。

- **背景** : 以下のオプションからいずれかを選択します。

- なし - 背景のスミージングは行いません。
- 自動 - 背景色を3色までスミージングします。
- 白に変換 - 3色までの背景色を白に変換できます。

- **適用先** :

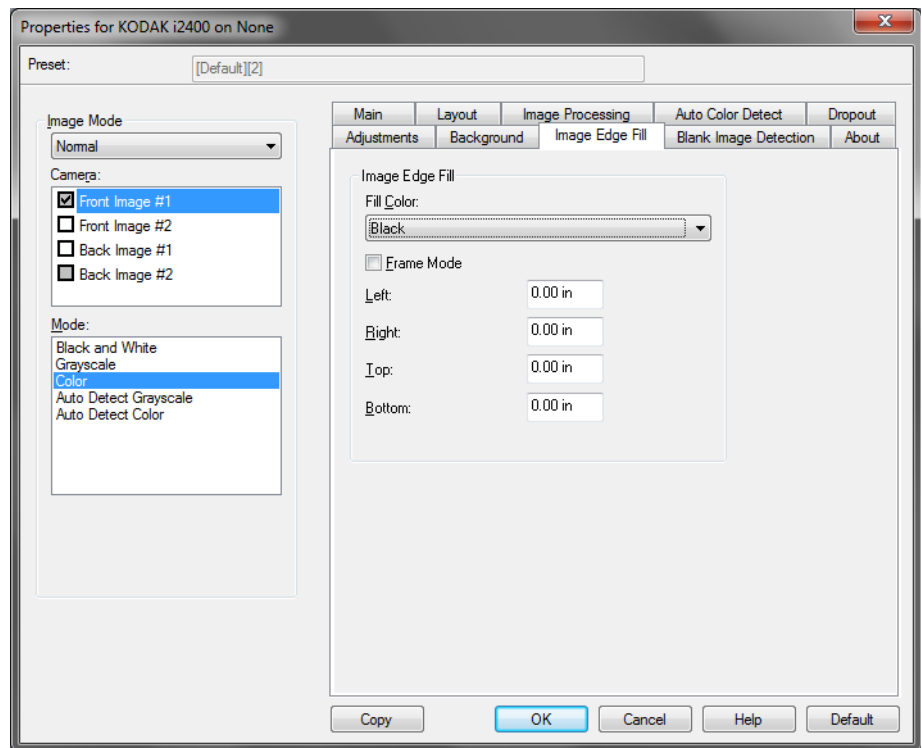
- **メインの色** - 背景色のメインの色を白にします。
- **中間色** - 中間色を白にします。他の背景色も2色まで均一にスミージングします。
- **すべて** - 中間色を白にします。他の背景色も2色まで白にスミージングします。

注 : [適用先] オプションは、[方法 : 白に変換] にのみ利用できます。

- **強度** : 背景の強弱を決定できます。値の範囲は、**-10 ~ 10** です。デフォルト値は0です。

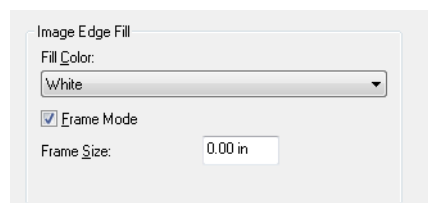
[イメージの端を埋める] タブ

[イメージの端を埋める] タブには、以下のオプションがあります。



イメージの端を埋める - 最終的に出力されるイメージの端の領域を、黒または白で埋めます。このオプションは、他のイメージ処理オプションがすべて適用された後に適用されます。

フレームモード - 黒または白を選択する際、処理対象のフレームのサイズを入力できます。[埋める色]ドロップダウンリストで選択した色とサイズでイメージの4辺が等しく埋められます。

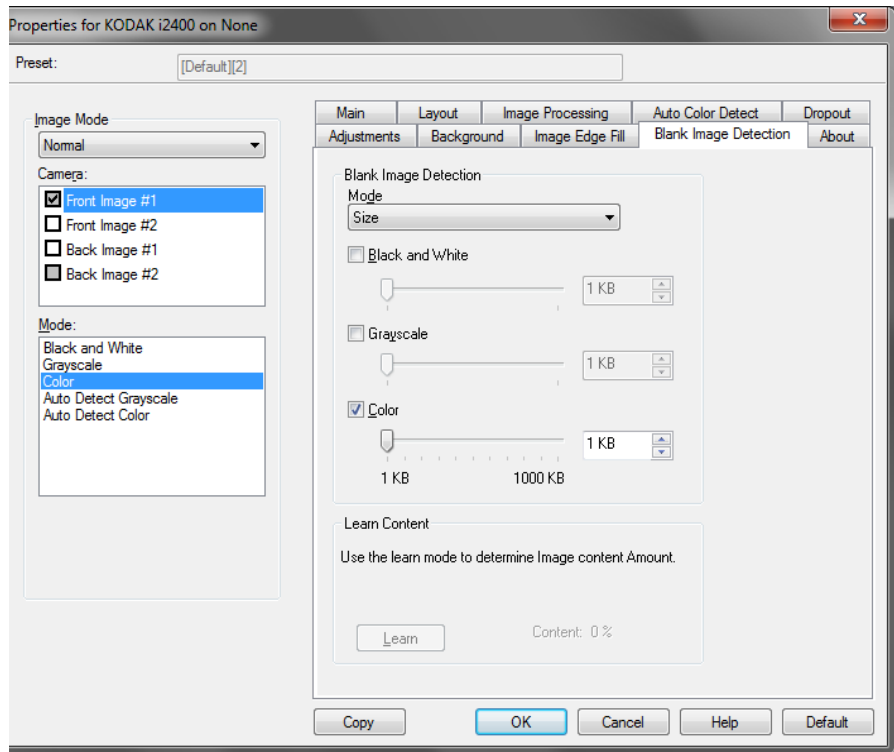


フレームモードが選択されていない場合、スキャンしたイメージの4辺から[左]、[右]、[上]、[下]領域の値を選択でき、選択に応じて黒または白で埋められます。

注： このオプションを使用するときは、大きな値を入力しないよう注意してください。値が大きすぎると、イメージデータが塗りつぶされる場合があります。

[ブランクイメージ検出] タブ

[ブランクイメージ検出] タブには、以下のオプションがあります。



ブランクイメージ検出を使用すると、スキャンアプリケーションに白紙のイメージが取り込まれないように設定できます。イメージが白紙と判断されるイメージのサイズ (KB) を指定します。設定値未満のサイズのイメージは作成されません。このオプションを使用する場合は、削除するイメージの種類（**白黒**、**グレースケール**、**カラー**）ごとに白紙と判断されるイメージサイズを指定する必要があります。これらのフィールドに値を入力しない場合は、すべてのイメージが保持されます。

モード

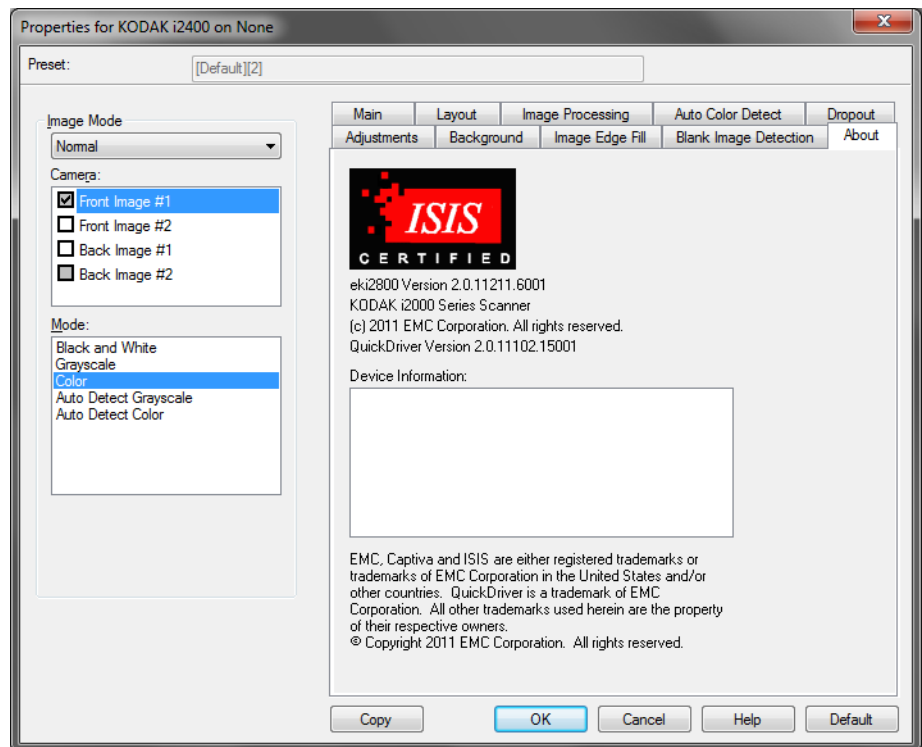
- **オフ**：すべてのイメージがスキャンアプリケーションに送信されます。
- **サイズ**：スキャンアプリケーションに送信されるイメージのサイズに基づいて、（他のすべての設定が適用された後に）白紙であるかどうか判断されます。
- **内容**：イメージ内の原稿内容に基づきイメージが白紙であるかどうか判断されます。**白黒**、**グレースケール**、**カラー**を選択し、スキャナーが白紙と判断する最大の内容量を選択します。内容量がこの値以上のイメージは白紙でないと判断され、スキャンアプリケーションへ送信されます。値の範囲は、**0**～**100**です。

自動設定 - スキャンされる原稿に基づいてスキャナーが内容量を判断します。この機能を使用するには、**[自動設定]** をクリックします。

注： 自動設定モードは表面と裏面の両方で同時に適用できません。適用する面を選択する必要があります。

[バージョン情報] タブ

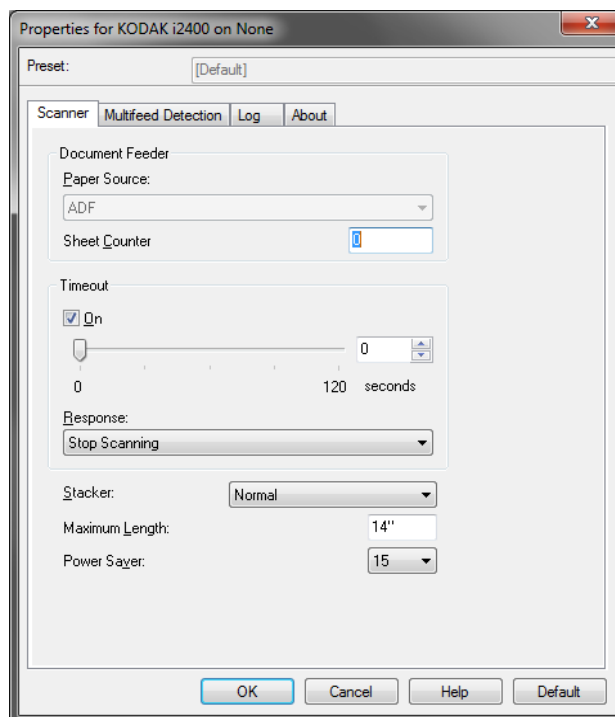
スキャナーとドライバに関する情報が表示されます。



スキャナーオプション

[スキャナー] タブ

[スキャナー] タブには、以下のオプションがあります。



ドキュメントフィーダ

- **スキャン方法** : ADF オプションは、入カトレイから原稿をスキャンします。[フラットベッド] オプションを使用すると A3/A4 フラットベッドアクセサリの原稿がスキャンされます。
- **シートカウンタ** : スキャナーに入る次の原稿に割り当てられる番号を入力します。スキャナーでカウントアップされ、イメージヘッダにカウンタ値が送られます。

タイムアウト

- **オン** : 最後の原稿が転送されてからトランスポートタイムアウトが実行されるまでの時間を設定します。タイムアウト設定を 1～120 秒の範囲で指定します。
- **レスポンス** : ドキュメントフィーダがタイムアウトになったときに実行するアクションを指定します。
 - **スキャンの停止** : スキャンを停止し、スキャンアプリケーションに戻ります (ジョブを終了します)。

スタッカ - スキャン原稿の出力トレイへの排出方法を決定します。

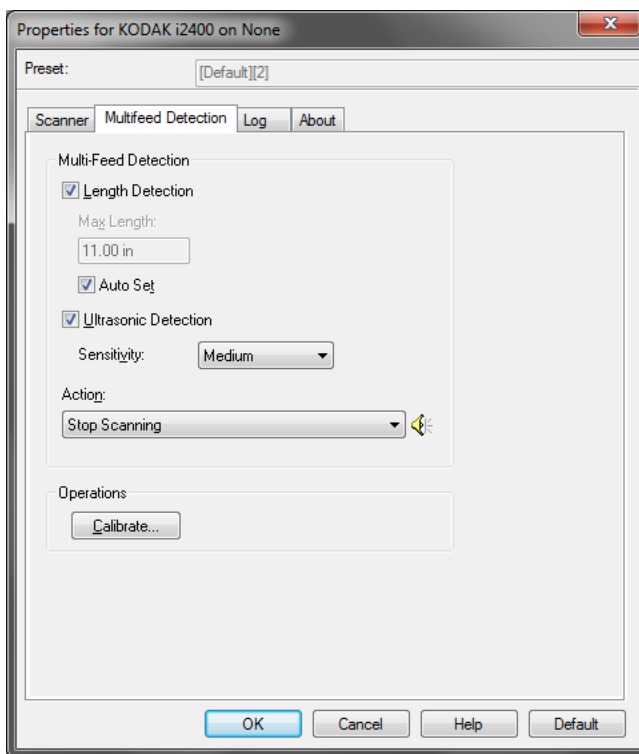
最大長 - 原稿セット内で最長のドキュメントの長さを示す値を選択します。

節電モード - スキャナーが操作されていないときに節電モードに移行するまでの時間を設定できます。

電源オフ - スキャナーの電源が自動的にオフになるまでの時間 (分単位) を設定できます。

[重送検知] タブ

[重層検知] タブには、以下のオプションがあります。



長さを検知 - このオプションは長さによる検知の有効/無効を切り替えることができます。デフォルトは無効です。有効にした場合は、重送検知機能が無効になっているときにスキャンできる原稿の長さの最大値を設定します。同じサイズのドキュメントのスキャン時に重送を検知するため、長さ検出を使用します。たとえば、A4 (210 mm x 297 mm) の原稿を縦でスキャンする場合は、**[最大長]** フィールドに 28.57 cm と入力します。最大の値は 35.56 cm です。

- **自動セット** : 現在選択されている用紙サイズより 1.27 cm 長い値を自動的に最大の長さとして設定します。

超音波検知機能 - 超音波による重送検知機能を設定する場合に、このオプションを選択します。

- **感度** : 搬送路に複数の原稿が重なった状態で送られたかどうかを、検知レベルを指定します。重送検知機能は、ドキュメントとの隙間を検出することにより、重なった書類を識別します。そのため、厚さの異なる原稿が混在しているような場合でも、重送を検知することができます。

- **低** : レベルが低い設定で、ラベルが貼られた原稿、紙質の悪い原稿、皺がある原稿を重送として認識する可能性がもっとも低くなります。
- **中** : 厚さが異なる原稿や、ラベルが貼られた原稿をスキャンする場合に使用します。ラベルの材質にもよりますが、ほとんどのラベルは重送とは認識されません。
- **高** : 最もレベルが高い設定です。この設定は、すべての原稿が 20lb. のボン紙である場合など、厚さが同じ原稿をスキャンする場合に適しています。

アクション - 重送を検出した場合の動作を選択します。

- **スキヤンの停止** : スキヤンを停止し、スキヤンアプリケーションに戻ります (ジョブを終了します)。搬送路に原稿が残っていないことを確認後、スキヤンアプリケーションからスキヤンを再開してください。
- **スキヤンの続行** : スキャナーはスキヤンを継続します。
- **スキヤンの停止 - 用紙を搬送部に残す** : スキヤンを直ちに停止し (搬送路に残ります)、スキヤンアプリケーションに戻ります (ジョブを終了します)。搬送路から原稿を取り除き、スキヤンアプリケーションからスキヤンを再開してください。
- **スキヤン一時停止** : このオプションを選択した場合は、重送が検出されると、ログに記録され、フィーダと原稿搬送が停止します (スキャナーが無効になります)。原稿はすべて、ジョブが再開されるまで搬送路に残ります。

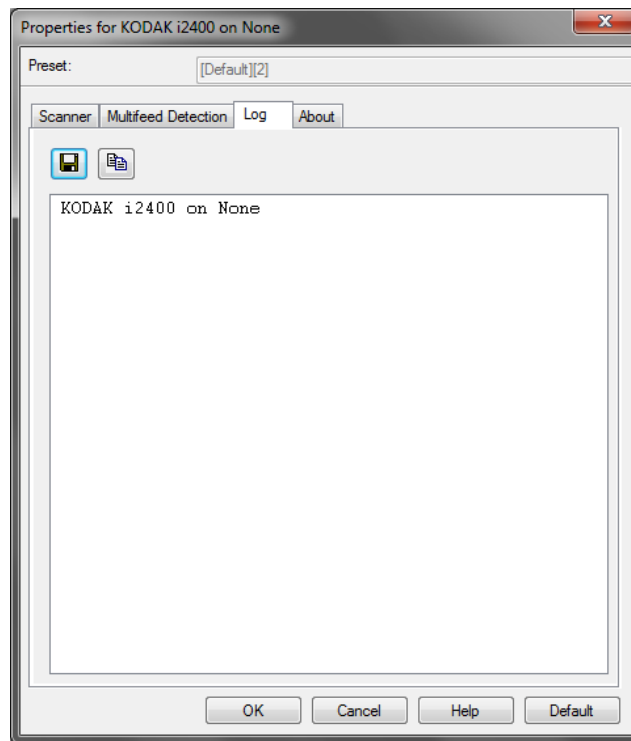
アラーム - 重送検出時に音を鳴らす場合、このオプションを選択します。スピーカーアイコンをクリックすると、[開く] ダイアログボックスが表示されます。[開く] ダイアログボックスから、使用する .wav ファイルを選択し、[OK] をクリックします。

オペレーション

キャリブレーション - 頻繁にキャリブレーションを行う必要はありません。テクニカルサポートから指示された場合に限り、スキャナーのキャリブレーションを実行してください。

[ログ] タブ

[ログ] タブには、これまでに発生したエラーが表示されます。



[保存] アイコンをクリックしてこの情報をファイルに保存するか、[コピー] アイコンをクリックしてログの内容をクリップボードにコピーできます。

[Scan Validation Tool] ダイアログボックス

Scan Validation Tool は Kodak Alaris が提供する診断アプリケーションです。SVT のユーザインターフェイスを使用すると、スキャナーのすべての機能にアクセスできるので、スキャナーが正常に動作しているかどうか効率的にチェックできます。Scan Validation Tool を使用すると、ISIS ドライバを使用してスキャナーの機能を検証できます。



ツールバーボタン



セットアップ - 選択されたドライバ用のユーザインターフェイスを表示します。



保存先 - スキャンしたイメージを保存するディレクトリとファイル名を選択します。このオプションは、[イメージをファイルに保存] を選択した場合に利用できます。



スキャン開始 - 入力トレイにある原稿をスキャンします。



1 ページスキャン - 1 ページだけスキャンします。



停止 - スキャンを終了します。



ライセンスキー - [ライセンスキー] ウィンドウを表示します。



表示モード (画像なし) - イメージビューアウィンドウを閉じます (イメージは表示されません)。



表示モード (1 画像) - 1 回に 1 枚のイメージを表示します。



表示モード (2 画像) - 1 回に 2 枚のイメージを表示します。



表示モード (4 画像) - 1 回に 4 枚のイメージを表示します。




表示モード (8 画像) - 1 回に 8 枚のイメージを表示します。

イメージをファイルに保存 - 選択すると、指定したディレクトリにイメージが保存されます。

指定数ごとに表示 - スキャン中に表示するイメージのサンプリングレートを入力します。たとえば、すべての画像を見るには 1 を入力します。10 個ごとに 1 つの画像を表示するには、10 を入力します。

合計 - 現在の Scan Validation Tool セッションでスキャンされた画像の総数を表示します。

最後のファイル - 最後に保存した画像のフルパスとファイル名を表示します。



Kodak Alaris Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615

© 2015 Kodak Alaris Inc.
All rights reserved.

コダックの商標およびトレード
レスはイーストマンコダック社の
許可を受けて使用しています。